

【御坊・湯川地区】

地域農業の将来（地域計画の策定）に 関するアンケート調査の結果について

調査概要

【御坊・湯川地区】

調査の目的

農業者の高齢化、担い手不足、耕作放棄地の増加が深刻化しており、今後の農業の展望を描くのが困難となりつつあります。

このような中で、農業者や所有者が地域の現状と将来の地域課題を共有することや、今後の農地利用を担う経営体への農地集約化に関する将来方針決定のための意向把握することを目的に実施いたしました。

調査期間

令和4年7月6日～令和4年7月31日

令和5年4月10日～令和5年4月28日

調査方法

郵送及びJ A 紀州にて配布・回収

調査対象者

御坊市で営農を行う耕作者

御坊市に農地を所有する土地所有者

回収状況

対象者数 274 名

回答者数 179 名

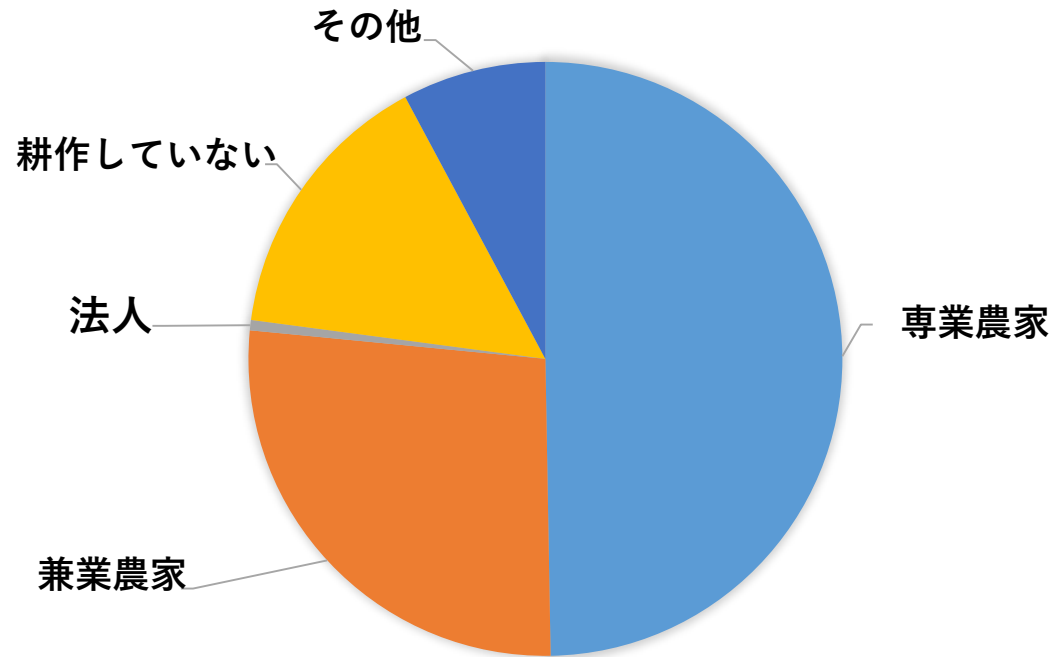
回答率 65.33%

◎注意事項

① 割合は全て百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。そのため、百分率の合計が100パーセントにならないことがあります。

経営の種類

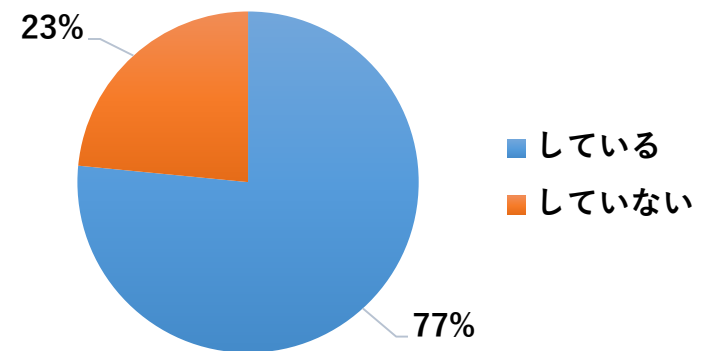
【御坊・湯川地区】



回答者の約77%が農業経営を行っており、専業農家が約50%を占める。

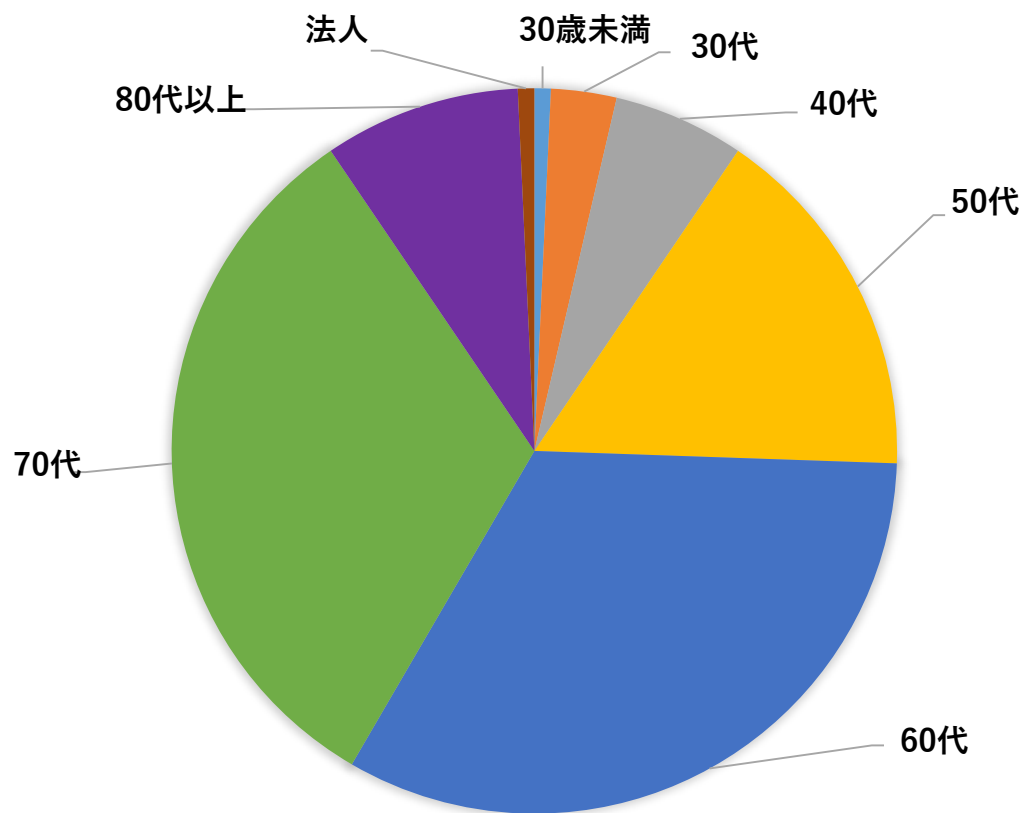
項目	回答数	割合
専業農家	89	49.72%
兼業農家	48	26.82%
法人	1	0.56%
耕作していない	27	15.08%
その他	14	7.82%
合計	179	

回答者における農業経営の割合



営農している方の年齢割合

【御坊・湯川地区】



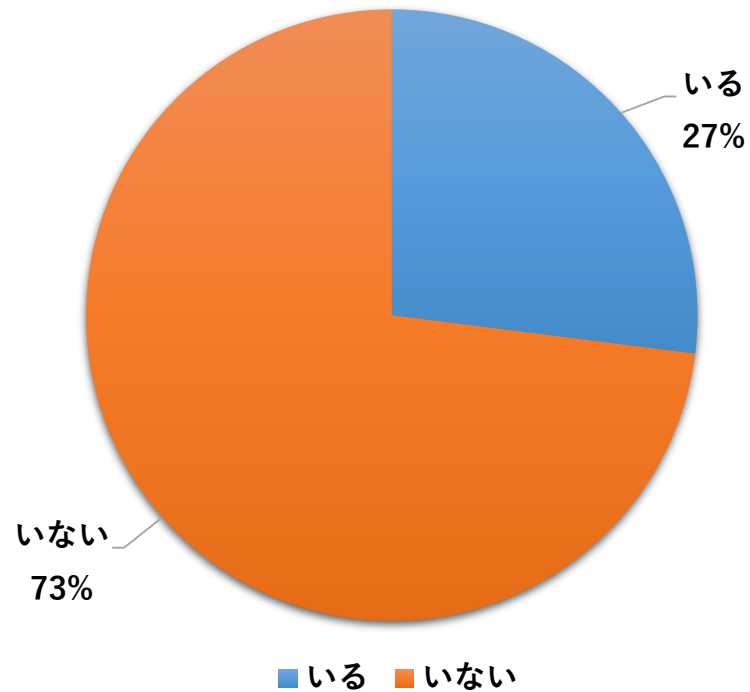
項目	回答数	割合
30代未満	1	0.73%
30代	4	2.92%
40代	8	5.84%
50代	22	16.06%
60代	45	32.85%
70代	44	32.12%
80代以上	12	8.76%
法人	1	0.73%
合計	137	

主に本人が耕作している場合の年齢層は、60、70歳代が全体の約65%を占める。
後継者に継承しない場合、10年後には70歳代以上に移行していくこととなる。

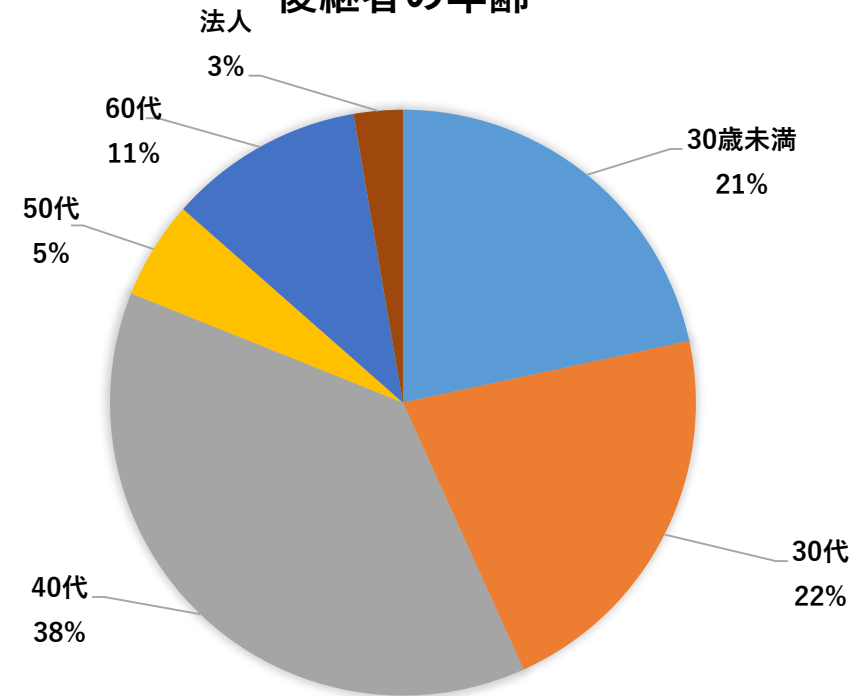
後継者について

【御坊・湯川地区】

農業後継者がいるものの割合



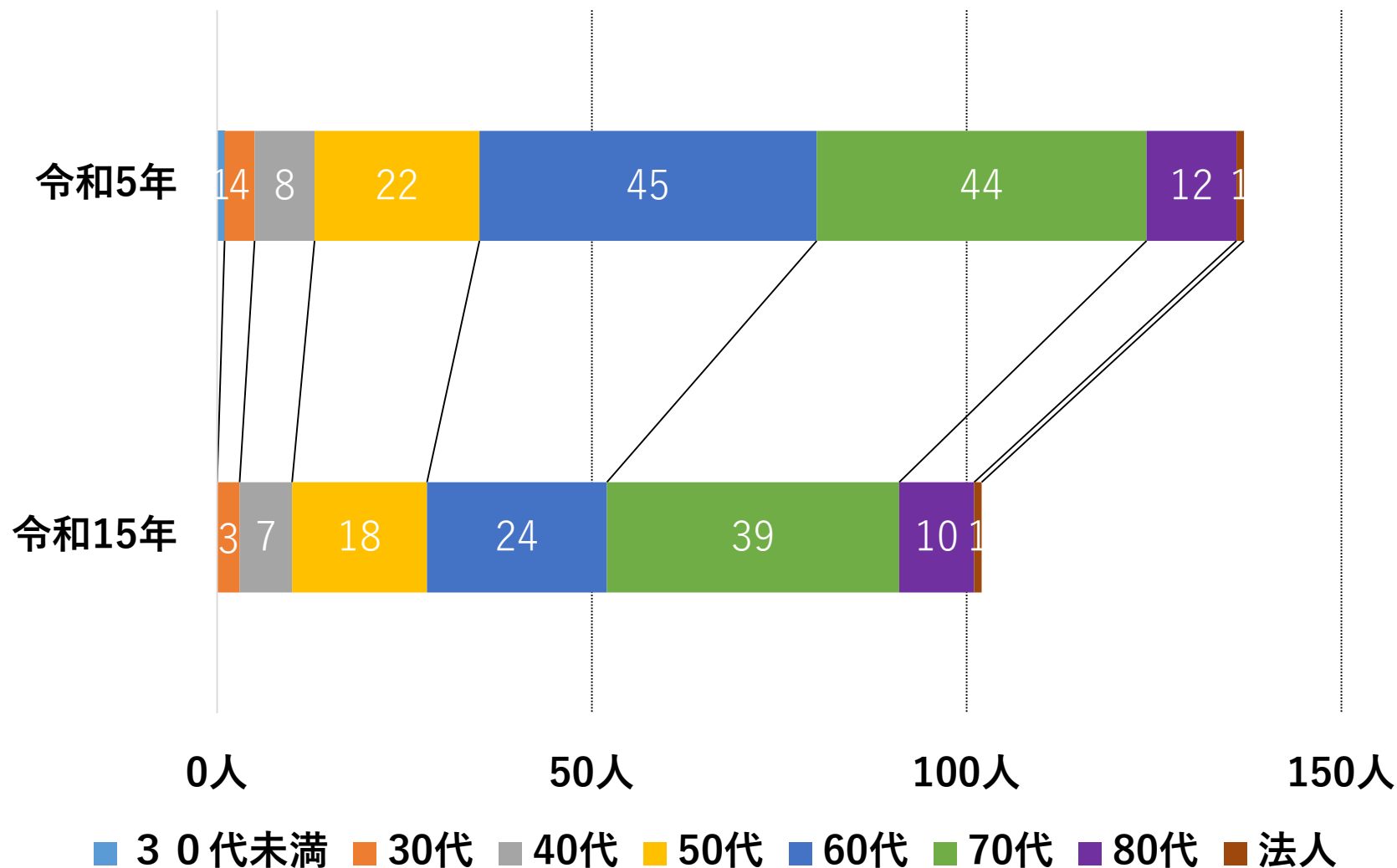
後継者の年齢



農業後継者がいるものの割合は27%にすぎず、担い手不足は加速すると思われる。

現在と10年後の耕作者の状況

【御坊・湯川地区】



耕作者の年齢分布は60、70歳代中心から10年後には70歳代が中心となる。ただし、離農者が増えることにより農業経営人数は137人から102人に減少することとなる。

地域農業の在り方に関するご意見（抜粋）

【御坊・湯川地区】

- 子供に引き継ぎたいが農業はすることが難しい。
- 農作物の値が上がるかしないと続けられない。
- 10年、15年後当地域においても高齢化等で耕作面積が減るのは目に見えている。仕方がないことだが若い方でも農業に従事してもらえよう農業機械購入時の補助（半分程度）があれば意欲も増すのではないだろうか。また、耕作しなくなった便利の良い（道路や水路）農地は意欲のある者に耕作してもらうのが良い。等